

「かつしか健康実現プラン ～「いつまでも自分らしい健康！」を応援します～」

【国・都・区の取り組み】 第1章より抜粋

(1) 国の取り組み

「二十一世紀における第二次国民健康づくり運動(新健康日本21(第二次))」の中で、健康寿命の延伸と健康格差の縮小、生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底、健康を支え、守るための社会環境の整備などの方向性が示されました。

(2) 東京都の取り組み

都民一人ひとりが主体的に取り組む健康づくりを社会全体で支援し、総合的に推進することを目的とした「東京都健康推進プラン21(第二次)」を策定しました。

(3) 葛飾区の取り組み

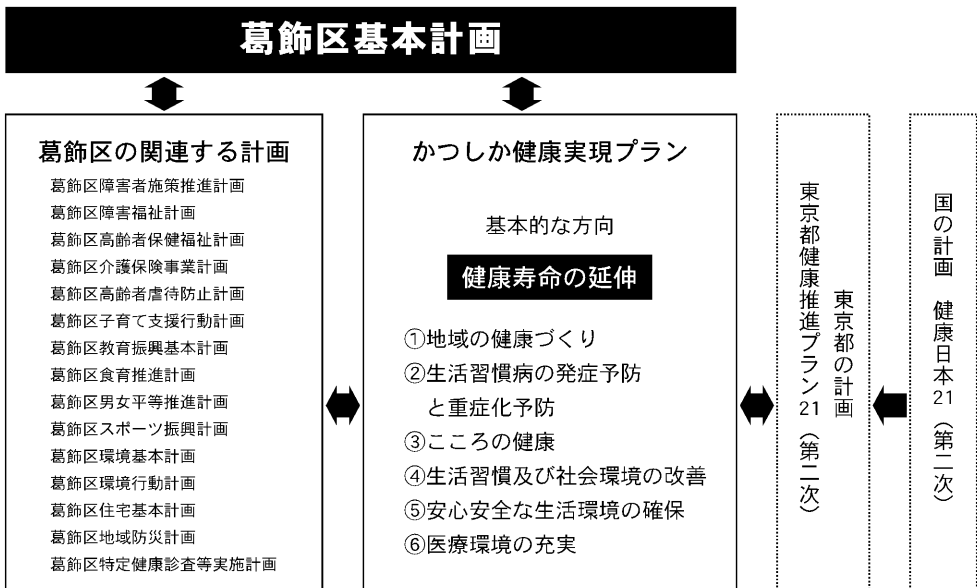
区民による自主的な健康づくりとそれを支える地域における保健・医療の充実に関する計画として、「かつしか健康実現プラン」を策定いたします。

【「かつしか健康実現プラン」の概要】 第1章より抜粋

(1) 計画の期間

平成26年度から平成30年度

(2) 計画の位置づけ



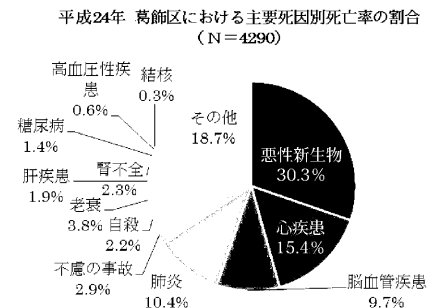
※この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

【葛飾区の課題】 第2章3より抜粋

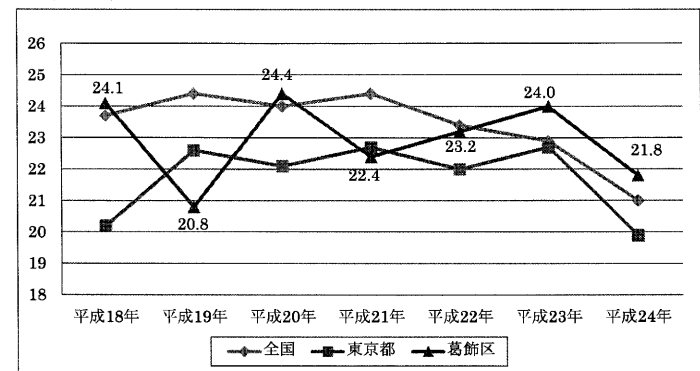
- (1) 国や東京都に比べて、がん、脳血管疾患、虚血性心疾患による死亡率が高く、糖尿病の患者も増えています。
- (2) 多くの区民がストレスや悩みごとを抱えています。こころの病気に対する偏見を解消し、相談しやすい体制づくりや、支援する人を増やすなどの取り組みが必要です。

【葛飾区の状況】 第2章3より抜粋

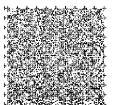
- (1) 平成24年の死亡数は4,290人です。死因別死亡の第1位はがん(悪性新生物)で30.3%、第2位は心疾患で15.4%、第3位は肺炎及び気管支炎で10.4%です。また、がん、脳血管疾患、心疾患など生活習慣病を原因とする死亡者は全体の約55%を占めます。
- (2) 全国では年間3万人を超える自殺者が続いていましたが、平成24年は3万人を下回りました。葛飾区における自殺者は毎年100人程度の状況が続いており、高齢者や無職の方が多傾向にあります。



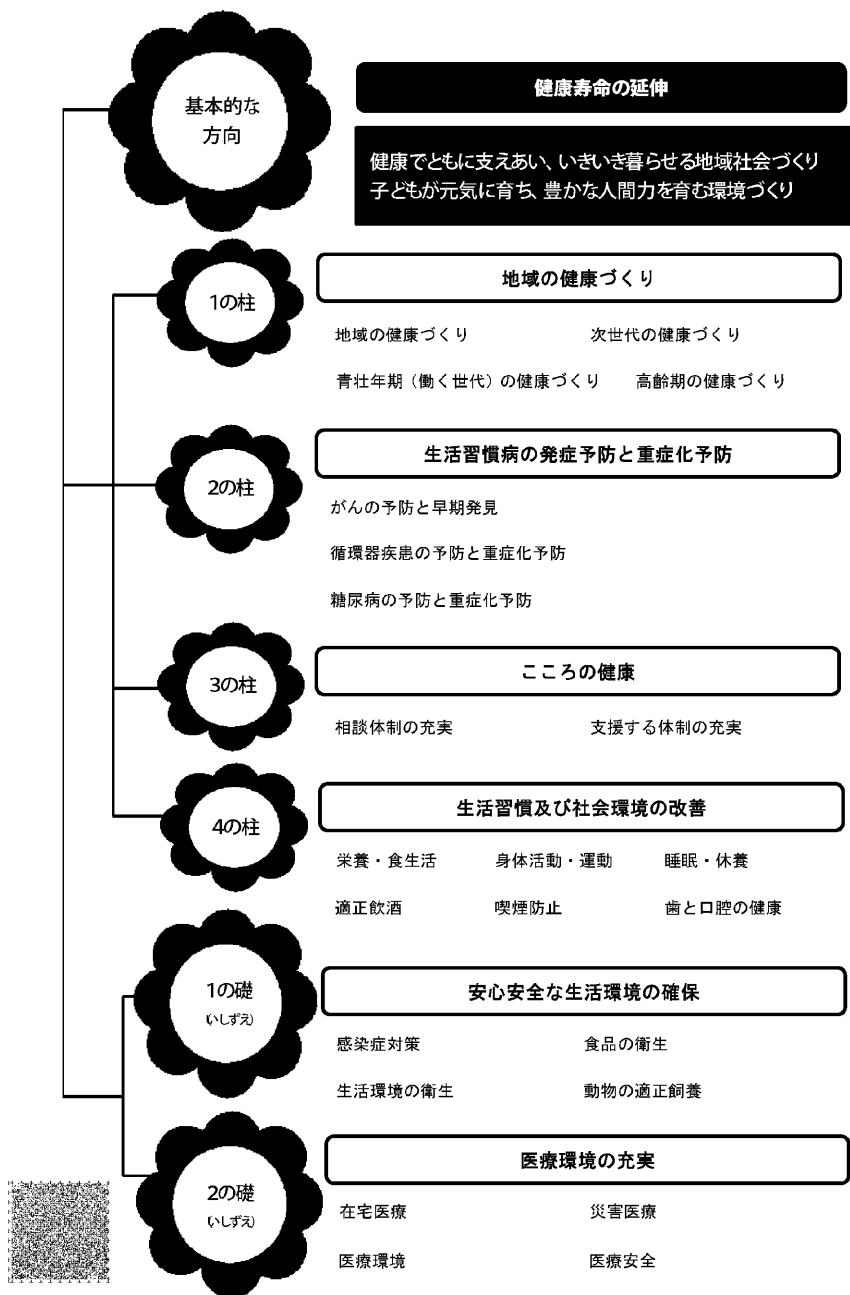
【自殺率の推移(人口10万対)】



- ☆ 昔ながらの人情味あふれ、人と人との結びつきが強いという地域特性を活かし、区民が健康づくりに自主的に取り組むことのできる環境を整備することが必要です。
- ☆ 各種団体、区民などソーシャルキャピタルとの協働・連携を図りながら、正しい知識の普及啓発や健康づくりを支援することが重要です。



「かつしか健康実現プラン～「いつまでも自分らしい健康!」を応援します～」



【基本的な方向】

「かつしか健康実現プラン」は、平均寿命の長さだけでなく、「健康寿命の延伸」を目指すための計画です。

平成24年度に策定した「葛飾区基本計画」の5つの主要課題とその取り組みのうち、「健康でともに支えあい、いきいき暮らせる地域社会づくり」を主な指針として策定しました。計画の基本的な方向を実現するために、左図のように4つの柱と、それを支えるための2つの礎（いしずえ）を基礎として、計画を策定します。

【4つの柱】

1の柱

これまでの地域とのつながりをさらに深め、ライフステージに応じた健康づくりへの取り組みを支援します。

2の柱

良い健康習慣を促し、科学的根拠に基づく正しい知識の普及啓発を行います。

3の柱

気軽に相談できる体制の充実を図り、必要に応じて支援に繋がれる仕組みを整えます。

4の柱

栄養・食生活、身体活動・運動、休養、飲酒、喫煙、歯と口腔の健康などの健康習慣は生活習慣病等への影響が大きいため、良い健康習慣に行動を変容するよう知識の普及啓発を行います。

【2つの礎】

1の礎

予防できる危機は予防に努め、食中毒事件や感染症などが発生した際には、迅速かつ適切に対応し、拡大を防ぎます。

2の礎

限られた医療資源を活用できるよう、関係機関との連携を進めます。